

日本リハビリテーション医学会 平成 21 年度第 4 回理事会 議事録

日 時：平成 21 年 9 月 26 日(土) 12 時～16 時

場 所：都市センターホテル 5F スバル

構成員：理事 16 名，監事 2 名

出席者

理事長／里宇明元

常任理事／赤居正美・上月正博・吉永勝訓

理 事／朝貝芳美・安保雅博・生駒一憲・出江紳一

伊藤利之・久保俊一・才藤栄一・住田幹男

田島文博・椿原彰夫・蜂須賀研二・水間正澄

監 事／江藤文夫

専門医会幹事長／菊地尚久

議 題

I. 報 告

1) 常任理事会報告

里宇理事長から、平成 21 年度第 7 回、第 8 回常任理事会の報告があった。更に、赤居常任理事からデータマネジメントに関する臨時常任理事会の報告があった。また、①9 月 14 日に倫理委員会が開催され、研究調査事業に係る倫理審査について「臨床研究に関する倫理指針」の対象外であることが確認された。②老人保健事業推進費等補助金交付決定通知があった。③次年度の厚生労働科学研究費や文部科学研究費などの申請を計画する予定である。以上 3 件の追加報告があり、了承された。

2) 会員現況報告について

吉永常任理事から、会員現況について報告があった。

3) 専門医会学術集会について

朝貝理事から、専門医会学術集会について報告があった。

II. 重要審議事項

1) 評議員選挙について

吉永常任理事から、9 月 14 日付け役員メール審議事項 3 項目のうち、①の評議員選挙の実施に関する申し合わせ(案)及び評議員選挙告示(案)について、及び、③の 9 月 1 日までの入会者、8 月 31 日までの退会者について、回答いただいた理事 14 名

全員から承認の回答を得た旨の報告があった。なお、審議事項②の被選挙人資格の会員歴に関する事項については、審議の結果、通算 10 年以上とすることで、承認された。

2) 理事選挙の方法に関する問題点について

吉永常任理事から、役員選挙の実施方法について、これまでの経緯及び問題点の説明が行われた後、タイムテーブルの関係もあり、本日の役員会で実施方法を確定したい旨の提案があり、第 1 案：これまで通り旧評議員により新役員を選出する方法、及び第 2 案：新評議員により新役員を選出する方法の 2 案について審議が行われた。今回、初めて評議員選挙が実施されるという背景からは、第 2 案の方が合理的であるという意見があった一方で、評議員、役員を選任に総会承認を必要としている現行定款下では第 1 案で行うのが妥当であり、また、定款に抵触しない形で第 2 案を採用する際には、学会期間中に複数回の評議員会、総会の開催が必要になる点で、無理がある等の意見があった。以上の議論を踏まえて、里宇理事長から①今回は現行制度で役員選挙を行う、②学会の会計士等の専門家に法律的・制度的な問題を確認する、③役員会としてこの問題を認識し、議論したことを議事録に残す、④新法人制度への移行も踏まえ、ワーキンググループで平成 23 年の総会に向けて定款変更の作業を行い、その際に評議員選挙、役員選挙についても合理的な方法を検討することとしたい旨の提案があり、承認された。

III. 審議事項

1) 平成 21 年度後期各種委員会委員の委嘱・解職について

里宇理事長から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

2) 会則の取り決めについて

伊藤理事から、会則に関する取り決め併せ現在修正中の会則集を今後各委員会に中味について検討をお願いし、修正した会則集を来年 3 月の役員会に

諮る予定で進めたい旨の説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

なお、規則の公開については今後検討して決めることとした。

3) 功労会員について

上月常任理事から、会員の種別として「功労会員」を定めることについての提案説明があり、審議の結果、功労会員の推薦についての内規作成の検討及び該当候補者の人数等を今後調べて進めていくことが、承認された。

4) 研究倫理審査委員会の設置について

吉永常任理事から、倫理委員会からの要望により、学会が行う委員会活動で生じる研究倫理審査へ対応する理事長の諮問機関として、臨床研究に関する倫理指針に沿った研究倫理審査委員会を設置する旨の提案説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

5) 会員の入退会について

吉永常任理事から説明があった。

6) 「障害者の体力評価」に関する今後の活動案について

朝貝理事から、審議の結果、指針作成のための障害保健福祉委員会におけるワーキンググループ設置については、理事長より診療ガイドライン委員会との連携で行うようにとの指示があり、活動を学会として進めていくことが承認された。また理学療法士をメンバーに加えて欲しい旨の意見もあり、引き続き活動内容について障害保健福祉委員会で検討していただくこととした。

7) 病態別研修会 DVD 製作、販売について

椿原理事から、DVD 製作会社選定については、他学会で同様の企画及び制作販売等の実績がある(株)医学映像教育センターに委託し、仕様は撮影、録音を直接会場で行う B 案、また、DVD 販売についても同社に委託し販売利益が本医学会に還元される 1 案としたい旨の提案説明があり、審議の結果、両案が承認された。

8) 電子査読システム投稿マニュアル作成について

出江理事から、審議の結果、原案どおり承認された。

9) 日本医学会に関するアンケートについて

里宇理事長から、本アンケートについて後日役員メール審議でご意見を伺う旨の提案があり、承認さ

れた。

10) 社会保険等委員会関係

吉永常任理事、水間理事から特に診療報酬改訂に向けての意見交換を行った。また、介護報酬改定におけるリハビリテーションに関する専門医アンケートを実施したい旨の説明があり、審議の結果承認され、その内容については役員会のメール審議で検討していただくこととなった。さらに 9 月 30 日で任期満了で解職になる尾花正義委員について平成 22 年 3 月まで内保連委員を継続で依頼したい旨の説明があり、審議の結果、承認された。

11) 平成 21 年度専門医及び認定臨床医資格更新について

蜂須賀理事から、今回の審査対象者 22 名について 11 名を適格、11 名を資格喪失(辞退含む)とする案が説明され、審議の結果、提案どおり承認された。

12) 平成 21 年度指導責任者の新規認定について

蜂須賀理事から説明があり、審議の結果、提案どおり 5 名の認定が承認された。

13) 平成 21 年度研修施設の新規認定について

蜂須賀理事から説明があり、審議の結果、提案どおり 4 施設の認定が承認された。

14) 平成 21 年度専門医試験特別委員候補(案)について

蜂須賀理事から、今回の候補者 72 名について経験者 61 名、新規 11 名とする案が説明され、審議の結果、提案どおり承認された。

15) 平成 21 年度研修施設の資格喪失について

蜂須賀理事から説明があり、審議の結果、提案どおり 3 名の資格喪失が承認された。

16) 研修施設 Web システムについて

蜂須賀理事から、前回役員会後に認定委員会で検討した結果について説明があり、審議の結果、提案どおり承認された。

17) 細則 (2)-e 項目による生涯教育研修単位の申請について

椿原理事から説明があり、審議の結果、原案どおり 1 学会 2 教育講演の申請が承認された。

18) 細則 (2)-f 項目による生涯教育研修単位の申請について

椿原理事から説明があり、審議の結果、原案どおり 5 件が承認された。

第4回専門医会学術集会在参加者500名と盛況のうちに終了した旨報告があった。

II. 重要審議事項

1) 平成21年度中間収支決算について

上月常任理事から、平成21年度中間収支決算書について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

2) データマネジメント調査・コンサルテーション業務経費について

赤居常任理事から、本医学会におけるデータマネジメントシステム構築に関わる技術動向調査・参加施設データベース調査企画のタイムテーブルの説明に併せ、調査・コンサルテーション業務経費の本医学会経費からの支払分及び厚生労働省補助金からの支払分の見積額について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。また、本件に関わる平成22年度の文部科学省、厚生労働省科学研究費の申請状況について報告があった。

3) 平成22年度診療報酬改定に向けて

吉永常任理事、水間理事から説明があり、特に診療報酬改定に向けての意見交換を行った。また、急性期病院における回復期リハビリテーション病院への患者転院および回復期リハビリテーション病院における患者受入についてのアンケート調査結果の報告を1月号の学会誌に掲載する予定で進めており、内容等に意見があれば一週間以内にいただきたい旨の説明があり、審議の結果、承認された。

III. 審議事項

1) 会則の取り決め及び会則集目次(案)と今後の進め方について

伊藤理事から、会則検討委員会で「会則に関する取り決め」に従い会則集の検討を行った旨の説明に併せて、本日最終的に会則に関する取り決めについて承認願いたい旨提案があった。また、「目次」に従い今後各委員会に内容の検討を依頼し、修正した会則を来年3月の役員会に諮る予定で進めたい旨の説明があり、審議の結果、両案は原案どおり承認された。

なお、内容の検討のため各委員会担当理事及び委員長にデータを送付する旨の追加説明があった。

2) リハビリテーション科専門医会幹事選挙に関する

規則(案)

菊地専門医会幹事長から、今後専門医会幹事選挙を電子投票及び郵送投票で行うことに伴い、これまでの「専門医会幹事決定までの手順」を基に「専門医会幹事選挙に関する規則」を制定したい旨の提案説明があり、審議の結果、手順と内規を合体して作成されているが、それぞれ別々に規定した方が良いとの意見等が出されたことを踏まえ、会則に関する取り決めに従い修正のうえ、会則検討委員会で検討することが、承認された。

3) 研究倫理審査委員会の設置について

吉永常任理事から、研究倫理審査委員会の設置および同委員会委員選考基準についての提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

なお、委員の数及び人選について常任理事会に一任することとした。

4) データマネジメントワーキンググループ委員の交替について

里宇理事長から、データマネジメントワーキンググループ委員を園田茂委員から辻 哲也委員に交替になった旨説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

5) 公益法人制度の対応について

里宇理事長から、今後のタイムテーブル及びワーキンググループの設置が提案された。ワーキンググループは常任理事、監事(1名)、会則検討委員会担当理事、会則検討委員会委員長、袖山公認会計士により構成し、公益法人制度に関する情報の収集・分析、問題点・課題の検討および学会としての対応の検討をミッションとすること、さらに、平成22年11月21日(日)、横浜での専門医学術集会后に新評議員による臨時評議員会を開催し、公益法人化についての討議を行うことが提案され、審議の結果、原案どおり承認された。

また、「公益法人制度改革の概要」及び「他学会の定款対照表」の参考資料について、追加説明があった。

6) 障害者の体力評価ガイドライン策定委員会の設置について

生駒理事から、診療ガイドライン委員会内に「障害者の体力評価ガイドライン策定委員会」を設置し、委員として、古澤一成、伊佐地隆、大隈秀信、伊藤倫之、高岡徹の各候補者を委員としたい旨の提

案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

- 7) 日本呼吸ケア・リハ学会からの呼吸リハビリテーションマニュアル—運動療法—第2版 作成のための協力依頼及び呼吸リハビリテーションガイドライン策定委員会の設置について

生駒理事から、標記マニュアルの作成に協力するために「呼吸リハビリテーションガイドライン策定委員会」再設置すること、及び、委員として、里宇明元、上月正博、宮崎博子、松本真以子の各候補者を委員としたい旨の提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

- 8) 第2回アジア・オセアニア地区リハビリテーション医学会会議参加特別助成募集及び海外研修制度特別助成に関する申し合わせ(案)について

赤居常任理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

- 9) 行政刷新会議への意見について

田島理事から、行政刷新会議事業仕分け対象事業の文部科学省科学研究費等の予算要求の縮小案などに対する「国民からの意見」(パブリックコメント)の提出に関し、他学会の対応状況も踏まえて、理事長、システム委員長及び広報委員長に相談し、パブリックコメント提出の依頼を各理事に緊急メール配信を行った旨の経過説明があった。

- 10) 医師以外の正会員入会について

伊藤理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

- 11) 会員の入退会について

吉永常任理事から説明があった。

- 12) 会員名簿に関するアンケート(案)について

吉永常任理事から説明があり、審議の結果、依頼文を一部修正すること及びアンケート項目に専門分野を追加することで、承認された。

- 13) 平成21年度専門医及び認定臨床医資格更新について

蜂須賀理事から、今回の審査対象者8名について2名を適格、6名を資格喪失(辞退含む)とする案が説明され、審議の結果、提案どおり承認された。

- 14) 平成21年度指導責任者の新規認定について

蜂須賀理事から説明があり、審議の結果、提案どおり4名の認定が承認された。

- 15) 平成21年度研修施設の新規認定について

蜂須賀理事から説明があり、審議の結果、提案ど

おり5施設の認定が承認された。

- 16) 平成21年度研修施設の資格喪失について

蜂須賀理事から説明があり、審議の結果、提案どおり1名の資格喪失が承認された。

- 17) 平成22年度単位付与項目(案)について

蜂須賀理事から説明があり、審議の結果、提案どおり承認された。

- 18) 医師臨床研修制度がリハビリテーション部門に与えた影響に関するアンケートのお願いについて

椿原理事から説明があり、審議の結果、アンケートのタイトル、文章を一部修正したうえで基本的には承認することとし、追加意見があれば一週間以内に申し出ることとした。

- 19) 認定臨床医への専門医試験に関するWebアンケートについて

椿原理事から説明があり、審議の結果、基本的に承認することとし、内容等について追加意見があれば一週間以内に申し出ることとした。

- 20) 細則(2)-f項目による生涯教育研修単位の申請について

椿原理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

- 21) 病態別実践リハビリテーション医学研修会(骨関節障害)修了試験結果について

椿原理事から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

- 22) システム委員会関係

田島理事から説明があり、審議の結果、同委員会で検討されたメルマガとアンケートの権限問題について、発信元毎の承認の必要性等の検討表を判りやすく修正・整理することを条件に承認した。また、第4回同委員会議事録の「新掲示板の作成希望への対応」についての文章に一部判断しにくい文言の指摘があり、これについても修正することで、承認された。

- 23) その他

- ①後援・協賛について

吉永常任理事から説明があり、審議の結果、原案どおり3件が承認された。

IV. 懇談事項

- 1) 専認構からの専門医の位置付けへの対応について
里宇理事長から、専認構で検討されている専門医

の位置付け及び基本領域とサブスペシャリティ領域の2階建ての考え方への対応について、今後、理事会、各関連委員会及び専門医会で検討を願いたい旨説明があった。

関連して、里宇理事長から平成22年度厚生労働省科学研究費補助金公募の(5)地域医療で活躍が期待される人材の育成・確保に関する研究②地域医療に貢献する医師等の需要に関する研究(ウ)「専門医制度に関する研究」に専門医会を中心に応募したい旨の提案説明があり、承認された。

V. 各種委員会等報告

1) 各種委員会報告

平成21年9月25日から平成21年11月20日までの間に開催された委員会について、次の通り各担当理事から報告があった。

- | | |
|---------------|---------|
| ① 編集委員会 | 出江理事 |
| ② 教育委員会 | 椿原理事 |
| ③ 認定委員会 | 蜂須賀理事 |
| ④ 試験問題委員会 | 安保理事 |
| ⑤ 障害保健福祉委員会 | 朝貝理事 |
| ⑥ 会則検討委員会 | 伊藤理事 |
| ⑦ 広報委員会 | 田島理事 |
| ⑧ 国際委員会 | 久保・赤居理事 |
| ⑨ 診療ガイドライン委員会 | 生駒理事 |

2) 専門医会報告

菊地専門医会幹事長から専門医会報告があった。

- ### 3) DVD ビデオ映像出版物契約の取り交わしについて
- 椿原理事から、(株)医学映像教育センターと契約を交わした旨の報告があった。

- ### 4) 細則 (2)-g 項目による生涯教育研修単位の申請について

椿原理事から、17件の諾の判定結果について報告があった。

- ### 5) 障害年金の診断書(精神の障害)の作成医の取扱いについて

里宇理事長から報告があった。

- ### 6) 市民公開講座(滋賀県,新潟県)開催について

吉永常任理事から報告があった。なお、今後講師はできるだけリハビリテーション科専門医に依頼するよう提案があり、次回の地方会連絡協議会に報告することとした。

- ### 7) 平成22年度各種委員会・専門医会活動計画及び予算調書の提出について

吉永常任理事会から、近日中に各担当理事及び各委員長宛に作成の依頼文を送信する旨の報告があった。

- ### 8) その他

①吉永常任理事から平成22年5月開催の学術集会時の臨時理事会を平成22年5月20日18:00～19:00に開催する旨の報告があった。

②椿原理事から、評議員選挙立候補届の締切の直後に候補者を公示したほうがよいとの意見が出されたが、吉永常任理事から、選挙管理委員会では1月末の候補者名簿・所信表明の公示までは選挙管理委員を除く全ての会員(理事長を含む)に立候補者を知らせないことと決定し、評議員選挙準備を進めている旨の説明がなされ、了承された。

以上